

学校名 川越市立野田中学校
所在地 川越市野田町2-19-14
電話 049-246-8484

1. 本校の概要

本校は、伝統ある「小江戸」川越市の西、緑豊かな田園地帯と市街地との境目に位置している。晴れた日には遠く富士山を望み、生徒たちは落ち着いた環境の中、学校生活を送っている。「自ら学ぶ生徒になろう 心豊かな生徒になろう たくましい生徒になろう」という学校教育目標のもと、学校・保護者・地域が一体となって教育活動をすすめている。

2. 本校の実践の概要

(1) 朝読書の取組

朝読書の本格的な取組を始めて2年目を迎える。朝 8:25 ~ 8:35 の10分間、生徒と担任が教室で共に本を読み、校舎は静まりかえる。「読書するのはこの時間だけ」という生徒もいて、「朝読書」の重要性を痛感する。生徒同士で本の感想を述べあっている姿もあり、読書習慣の定着がみられる。

(2) 図書館オリエンテーション

入学して間もない時期に学活の時間を使い、オリエンテーションを行った。図書整理員の紹介を含め、資料の配置、貸し出し・返却の方法などを説明した。クイズ形式で10進分類法(NDC)への理解を深め、自分の力で必要な資料を探せるようにした。

(3) 「読書週間」の取組

今年度も、春の「子どもの読書週間」と秋の「読書週間」を、読書推進活動の中心に据えてきた。

春の「子どもの読書週間」

【玄関ホールへの掲示】



【全校朝会で、
図書委員による
図書の紹介】



【図書委員による図書クイズの実施】

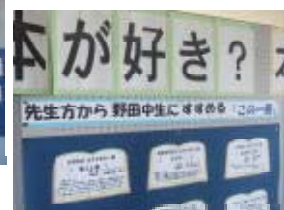
図書委員が、本に関するクイズを作成し、読書週間の期間に合わせて実施する。正解した生徒には図書委員が作ったしおりをプレゼントした。

秋の「読書週間」

【「ベストリーダー」の表彰】

4月から10月までの図書貸し出し数で、各学年上位3名の生徒を表彰した。

【職員による「野田中生にすすめるこの一冊」】



校長、教頭をはじめ、事務室、相談室の職員まで、「野田中生にすすめるこの一冊」というタイトルで本の紹介をし、ホールに掲示した。また、図書館には紹介された本をなるべく揃えるようにした。



3. 成果と今後の課題

朝読書の取組によって、全校が「読書をする」という雰囲気になり、読書の習慣が無かった生徒も、読書に対する抵抗感が年々薄くなっている。図書の貸し出し数も昨年度からさらに増加している。また今年は図書整理員と司書教諭の間で「連絡帳」をつくり、互いの要望や問題点など、より具体的に伝えられるようになった。季節に応じた図書館の展示も充実させることができた。



毎年同じ取組を繰り返すのではなく、小さなことでも新しい取組を加えることによって、生徒に読書に対する新鮮な喜びを感じさせていきたい。